

## 会 議 要 録

会議の名称	第2回 第6次村山市総合計画策定審議会
開催日時	令和6年8月6日(火) 18:30~20:15
開催場所	農村環境改善センター2F 多目的ホール
構成員	出席者：(別紙名簿) 事務局：村山市政策推進課 受託者：ランドブレイン(株)
次第	1 開会 2 あいさつ(会長) 3 議事 (1) 第5次村山市総合計画の検証結果について (2) 第6次村山市総合計画骨子(案)について (3) その他 4 閉会
質疑応答等	
議事(1)	第5次村山市総合計画の検証結果について ・各部長より説明(基本目標1~5) <b>【第1部会関係】</b>
柴田委員	個別政策1の今後の課題に、引き続き駅西エリアの開発を進行し生活利便性の向上を図っていくという記述があるが、駅西エリアの方に、駅東側からのアクセスを向上させるような計画とか、そういったことも考えとしてあるのか。
事務局	駅西エリアから駅東側へのアクセス向上に関して以前から議論になっていたが、駅舎を挟む関係で、現段階では道路整備によるアクセス向上というのはなかなか難しいと考えている。
高橋会長	現状はそういうことだろうが、今後も各方面で話し合いなど進められれば、そういった動線がつけられる可能性が見えてくるかもしれない。
奥野委員	<b>【第2部会関係】</b> 個別政策1の主な成果で、「令和2年から5年間で50名以上が新規就農・・・」とあるが、何歳ぐらいの人で、どこのエリアで新規就農があったのか、わかれば教えていただきたい。また、今後の課題に関して、実際に農業従事している感覚では、それ程新規就農者が増えている実感がない。今後の課題としても新規就農者の確保は必要ではないか。
事務局	新規就農者に関する具体事項を把握させていただき後日の説明とさせていただきたい。新規就農者の記述については、今後の課題にも含めていきたい。
磨委員	個別政策3について、今後の課題として「経営者の高齢化に加え後継者がいない店舗が増加している・・・」とあるが、経営者自身の意向などは把握されているのか。
事務局	商工会と連携して実施した商店街調査結果からの意見になっている。詳しい資料は後日の提供とさせていただきたい。
平委員	個別政策4の今後の課題に「重点作物を活用した商品開発への支援・・・」とあるが、重点作物とはどういったものなのか。
事務局	スイカ、さくらんぼ、トマト、ももが重点作物4品目になっている。

高橋会長	<p>大体、園芸作物が主体になっているだろう。</p> <p><b>【第3部会関係】</b></p>
柴田委員	<p>個別政策2の今後の課題にある、観光PRにおけるSNSの活用について、どういった主体がどういう形で進めていこうと考えているのか、教えていただきたい。</p>
事務局	<p>観光PRの所管は商工観光課になっている。現行の総合計画を策定した当時（10年前）は、SNSはそこまで生活に身近なものではなかったが、時代の変化に対応しながら他市町村でもやられているような、SNS上でイベントを開いてみたり、具体的なターゲット設定と集客効果の検証といったものを、SNSを媒介にもっとしっかりやっていくことで、今後の村山観光のブランディングという意味でも大事なところととらえている。</p>
平委員	<p>例年バラ祭りが開催されているが、大体、土日の来場は結構あるが、平日はBGMを控えているのか、少々雰囲気が寂しかったという気がしている。平日の来場者が全く無いわけではないだろうし、バラ祭りの期間中はもう少し「祭り」の雰囲気を維持していただきたい。</p>
事務局	<p>バラ祭り期間中の音楽など基本プログラムに差をつけているわけではない。（今年はボリュームが小さかったのかもしれないが）今年は「暑さ」が早く来てしまい、お客様にも避けられてしまったようだ。気候の影響もかなりあったと感じている。ご意見については、来年度開催あるいは次期計画づくりにもしっかりと盛り込んでいきたい。</p>
高橋委員	<p>個別政策3の主な成果として「空き家を活用した宿泊施設3軒に補助を出し、市内宿泊施設は10軒に増加した」とあるが、その10軒の利用者数といったデータがあれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>具体のデータは今手元にないが、部会での話の中では、やはりコロナの影響で利用客が減ったが、コロナ明け以降、客足は戻りつつあるようだ。</p>
高橋委員	<p>こういった空き家の宿泊利用数というのを把握していくことで、今後もそういうものを多くするのか、少なくするのかという、検討材料になるのではと思った。</p>
高橋会長	<p>また部会の議論の1つのテーマとしていただき、資料も含めて検討していただきたい。</p> <p><b>【第4部会関係】</b></p>
大山（拓）委員	<p>個別施策1の今後の課題として「・・・小学校統合計画に基づき、市内の学校の統合を進める」とあるが、楯岡小学校を従来型でやっていくことについて、少し疑問がある。今、集団で学習できない子供たちが増えてきており、校舎の更なる改装というか、目的に応じた増築なども、今後、計画としてとり上げていく必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>ご意見については、教育委員会により学校統合検討委員会で話し合われているので、そちらの方にお伝えさせていただきたい。</p>
柴田委員	<p>個別政策1の主要な成果に記載の教育支援センターについて、こうした施設が新たに設置されたのはいいが、こういった施設を利用しないで済むことの方が子供たちにとってはいいのではないかとも思っている。施設運営に係る金額について確認したい。</p>
事務局	<p>手元に具体資料がないため後日の回答とさせていただきたい。</p>
磨委員	<p>個別政策2の今後の課題の記述にある、災害時避難行動要支援対象者名簿について、どういった運用がなされているのか。</p>
事務局	<p>本名簿については各地区の民生委員さんと警察の方でのみ情報共有されているもの</p>

	で、実際、地域間でどう活用していくのかが課題認識としてある。
平委員	災害時避難行動要支援対象者は市の福祉課の方でも把握している。また民生委員としては、何かあった時の対応に関して、要支援者だけでなく 65 歳以上の高齢者の方についても、ご家族に連絡したいといった場合のために携帯電話番号も把握するようにしている。
柴田委員	行政として、万が一避難所を設営しなければならなくなった場合の運営ノウハウというのは、お持ちなのか。
事務局	市に防災対策課があり、そこに防災専門員を配置している。 (その他)
高橋会長	ただ今、委員の皆さんからご意見、ご質問等いただいたところで、今後の対応について事務局からお願いしたい。
事務局	いただいたご意見の中で、後日回答とした件については、委員全員にメール等で通信したいと考えている。ご指摘いただいた意見内容を事務局の方で精査して、今後の計画策定につなげていきたいと思う。
高橋会長	計画策定に向けて、皆さんからご意見等、お気づきの点は随時事務局の方にお話しただければと思う。その点も含めてよろしくをお願いしたい。
議事(2)	第 6 次村山市総合計画骨子（案）について ・事務局より説明
高橋会長	第 5 次計画検証時のメンバーと、今後の第 6 次計画策定の作業部会のメンバーはまた組み直すようなことになるのか。
事務局	作業部会については、この 5 部会で引き続き実施していく。第 6 次計画で設定した 6 つの目標に対しては、それぞれ関係する部会の方に分けて、検討していきたいと考えている。
芦野委員	基本目標のカテゴリー分けに関して、計画期間（5 年後 10 年後）を考えると、今の現役世代である 30 歳代、40 歳代の人口が、5 年後 10 年後でどの程度減っていくのか把握しておくことが大事かと思う。目標として、観光と産業が一緒にすることで、より事業規模を縮小していく考え方だと思われる。これにより他のまちづくりとか、定住促進といったところに注力していく方が、現在の村山市にとってはより良いことであろう。また、目標 2 の「まちづくり」というのと目標 6 の「協働」は意味的には一緒のように感じられるが、どうなのか。
事務局	基本目標 2 の「まちづくり」については、ハード整備的な要素を含んだまちづくりという意味合いで、駅西開発であったり、工業団地の造成といったものを含めている。基本目標 6 の「協働」については、地域のコミュニティということで、ソフト的な要素だというふうにとらえている。基本目標名については、事務局でも再度確認させていただきたい。
柴田委員	基本目標 2 の「まちづくり」というところで、市民意識調査結果から、「便利で快適な暮らしができるまち」というのを一般市民も高校生世代も望んでいるようなことであるが、「まちづくり」として、どういうふうに快適な暮らしができますということを我々に示してくれるのか。
事務局	基本目標 2 のまちづくりについて、その左側の欄に第 6 次計画づくりに向けた課題認識を記載しているが、目標 2 のまちづくりとしては、「安心して暮らせる生活環境整

備」ということで、先ほどハードの面をお話しさせていただいたが、やはり若者世代からは、買い物をする場所であったり、遊ぶ場所が欲しいというニーズもあるところで、駅西開発などを促進していかなければいけないという認識である。また、高齢者世代からは、買い物弱者対策とか、免許返納した後の対策を考えて欲しいといったところで、そういったソフト面の生活環境整備に関しても、このまちづくりというところに入ってくるかと思う。

檜山委員

先程、芦野委員の方から産業観光振興というのが一緒になって、観光を縮小していくような言葉があったが、村山市として発展していくためには産業も観光も縮小してはいいなく、むしろ拡大していかないといけないことなのかと思うが、方針の内容としてはどうなっているのか。

事務局

今回の第6次計画の基本目標として産業観光振興という1つの枠組みにしたところだが、決して事業縮小によってこれらを合体したものではない。10年前策定時の5つの枠組みの中では過大であった部分もあり、今回の総合計画では、全ての分野において取り組めるような形でこの枠組みを考えている。

高橋会長

先程から教育分野に関するご意見、ご質問がいくつか出ているが、基本目標5として教育、文化、スポーツといったカテゴリーとしていく流れだが、その点については如何か。

土屋委員

要望になるが、現在市の方で、小学校統合計画策定委員会ということで動いており、この総合計画が最上位計画だとすれば、次回あるいはその次でもいいが、策定委員会等々から具体的な内容が出てきたら、ぜひ本審議会の中でもお示しいただきたい。これからの未来を担う子供達、学校教育、また文化・スポーツという部分はこれからの村山市を作っていく上での宝を育てるところにあると思う。こういった括りで進めていくのは賛成であるし、学校統合の関係は各地区の活性化という面にも繋がるものだと思うので、是非その辺りを含んだ話し合いになるようお願いしたい。

あともう1点。自身の所属の関係から、子ども子育て審議会というものにも関わらせていただいております、そこで出てくる話も当然今後盛り込まれていくだろうと思っている。これまでの村山市における子ども、子育て支援策は、他市と比べれば非常に多いという面がある一方、子どもの遊び場（施設）面では他市の方が色々あるような気がしている、例えばリンク村山だとか、そういうところを有効的にPRし、活かしていくか。そういった内容の整理も含めて、次回以降、議論になればありがたいと思う。

工藤委員

第6次計画の基本目標としてカテゴリーが5つから6つになるということによろしいかと思う。市民意識調査結果から見ても、望ましいまちの姿として、便利で快適な暮らしができるまち、出産や子育てがしやすいまち、医療や福祉が充実したところが上位にあるし、雪が多いので市外に出たいというような回答もあったが、その辺もまちづくり/防災減災に含まれるかと思うので、これから充実していただきたい。

もう1点、アンケート項目の最後の方、村山市のまちづくりを進めていくにあたっての関わり方という質問で、「まちづくりを検討する場があれば積極的に参加する」という回答割合について、非常に少ない数字に感じていたが、実市民数に捉えなおしてみると結構いい数字なのかもしれない。基本目標6に関する課題認識にある、新たな地域の担い手づくりという面で、こういう回答をされた人達をうまく育てていくというところ、やはり教育の力はとても大きいと思う。幼稚園、小学校、中学校というそういう時

	<p>から、自分の手で課題を見つけて何とかしていく。何となく行政は任せておけば何かしてくれるというような意識がとても強いと思うので、そこを変えていくってところも大事なのではないか。</p>
高橋会長	<p>基本目標 6 の協働というのは先程事務局から話があったように、コミュニティだということ。今、工藤委員からもあったように、これまでのまちづくりは、どちらかと言うと行政任せのところが多かったように感じていた。これからのまちづくりは地域の方々も一緒になって、まちをつくっていった活性化させていくのだという、そういう方向でないと、まちは発展していかないと思っている。</p>
末永委員	<p>最近ではリンク村山に集まって、市民の草の根活動的に、村山のまちを勉強したり、今後のことをディスカッションしようみたいな場もある。こういう協働の動きが少しずつ、僕らだけではなく、いろいろなところで広がっているのではないか。そういうのも拾い上げていただけるとありがたい。</p> <p>今回資料にある、第 6 次計画の基本目標の設定に関して異論はないが、基本目標を導き出す手前の、課題の認識の記述について、一部課題と施策内容的な記載が混同していると思うので確認されたい。(例えば「各種移住、定住支援策の充実」はアイデアとか政策と呼ぶもので、課題として書くなら、将来人口推計では出生数が 2045 年ぐらいになると 70 までになって、その辺りから人口が再生産できなくなるというのが課題ではないか)</p>
事務局	<p>今回実施したアンケート結果について、最終的な回答数 753 名ということで、先程の設問回答割合から、かなりの市民は、まちづくりに何等か協力はするという意識を持っているということになる。また、別の質問の、市外に転居したいと思っている方が 5 人に 1 人あって、その理由として、雪が多くて大変だからという意見が多いということで、今後とも真摯に受け止めて今後の施策に繋げていきたい。</p>
奥野委員	<p>アンケート問 7 の現在住んでいるところから転居したいと考えていますか。に対する「年齢」と「居住地域」のクロス集計と、次の設問の転居を考える理由についても同じく年齢と居住地域のクロス集計があればお願いしたい。</p>
事務局	<p>次回までに整理してお示しできるようにしたい。</p>
議事(3)	<p>その他</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査結果資料の訂正等について報告</li> <li>・本審議会開催以降、第 6 次総合計画基本構想、前期基本計画の策定に移行する（庁内 P T、部会の開催）</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>